

平成28年11月21日

各 位

三菱UFJ信託銀行株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行、個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)に新規参入
三菱UFJ信託銀行・三菱東京UFJ銀行で「ライトコース」の取扱開始

三菱UFJ信託銀行株式会社(社長 池谷幹男 以下「三菱UFJ信託銀行」)は、関係当局の許認可等を前提に、平成29年1月1日より、株式会社三菱東京UFJ銀行(頭取 小山田隆 以下「三菱東京UFJ銀行」)と共同で、個人型確定拠出年金(以下「個人型DC」)の運営管理機関業務に新規参入いたします。

個人型DCは、掛金が全額所得控除、運用益も非課税、給付を受け取る時にも税制優遇措置があるほか、転職・退職しても継続して加入ができる等のメリットがあり、より豊かな老後生活に向けた資産形成が可能になる制度です。確定拠出年金法の改正により、平成29年1月から、個人型DCは全ての企業にお勤めの方、専業主婦等の方、公務員等にも加入範囲が広がり、原則としてすべての国民が加入できるようになります。

このような制度の拡大に合わせ、三菱UFJ信託銀行および三菱東京UFJ銀行は、平成29年1月より、個人型DCの新しいコースである「ライトコース」の取り扱いを開始いたします。

「ライトコース」は、運営管理機関手数料を抑え、投資信託は選びやすい商品本数、かつ、NISA等で実績のあるインターネット向けのインデックスファンドで構成し、個人型DCをきっかけに初めて運用を行うお客さまのニーズにもお応えできるコースです。

なお、商品構成につきましては、引き続き、より魅力的なものとなるようお客さまのニーズを踏まえ検討してまいります。

今後も、三菱UFJ信託銀行と三菱東京UFJ銀行は、個人の自立的な老後資産形成ニーズに、2社のノウハウ・機能を結集し、お応えしてまいります。

以 上

1. 個人型プランについて

(1)平成 29 年 1 月より取扱う個人型プラン(2 種類のコース)について

①「標準コース(旧 B プラン)」

ラインナップが充実したコースです。多様なニーズにお応えする為、様々な投資対象・運用手法の商品を取り揃えております。

②「ライトコース(新コース)」

運営管理機関手数料を抑えたコースです。選びやすい商品本数、インターネット向けの低廉な信託報酬のインデックスファンドで構成(※)されたコースです。

※商品構成は、今後もより魅力的なものとなるようお客さまのニーズを踏まえ検討してまいります。

(2)旧「Aプラン」

①新規取扱停止

平成 28 年 11 月 21 日以降、新規のご案内は停止いたします。

②Aプランをご利用の既存の加入者等さま

平成 28 年 11 月 21 日以降も、引き続き運用及びサービス(Web・コールセンター等)を継続してご利用頂けます。

(3)運営管理機関手数料等について

【標準コース】(加入者さまの場合)

(税込)

種類	支払先	毎月月額	初年度年額	次年度年額
運営管理機関手数料	運営管理機関	378円	4,536円	4,536円
資産管理手数料	事務委託先金融機関	64円	768円	768円
毎月の事務手数料	国民年金基金連合会	103円	1,236円	1,236円
初回手続手数料	国民年金基金連合会	(初回のみ)	2,777円	-
計		545円	9,317円	6,540円

【ライトコース】(加入者さまの場合)

(税込)

種類	支払先	毎月月額	初年度年額	次年度年額
運営管理機関手数料	運営管理機関	255円	3,060円	3,060円
資産管理手数料	事務委託先金融機関	64円	768円	768円
毎月の事務手数料	国民年金基金連合会	103円	1,236円	1,236円
初回手続手数料	国民年金基金連合会	(初回のみ)	2,777円	-
計		422円	7,841円	5,064円

2. 三菱 UFJ 信託銀行・三菱東京 UFJ 銀行の個人型 DC における共同運営体制について

平成 29 年 1 月より、三菱 UFJ 信託銀行は、関係当局の許認可等を前提に日本確定拠出年金コンサルティング(株)の全業務を承継し、企業型確定拠出年金の運営管理機関業務を開始するとともに、個人型 DC についても、三菱東京 UFJ 銀行から運営管理機関業務の一部を受託し、共同で取扱いを開始いたします。

〈個人型 DC における共同運営体制について〉

- ・運営管理機関：三菱東京 UFJ 銀行(運営管理機関業務の一部を三菱 UFJ 信託銀行に委託)
- ・受付 (※1)：三菱 UFJ 信託銀行の Web、三菱東京 UFJ 銀行の Web、MUFG 個人型コールセンター
- ・事務等(※2)：三菱東京 UFJ 銀行が担います。

(※1) Web における資料請求とり纏め、コールセンターの運営は三菱東京 UFJ 銀行が担います。

(※2) 各種帳票・残高のお知らせ等の事務は三菱東京 UFJ 銀行が担います。